

三帰依文 (さんきえもん)

・国語の授業ではあまり学ぶことのない「仏教 独特の漢字の読み方」もあります。三帰依文 (教科書 P17) を参照して、下線部の読みを答えてください。

人身受け難し、いますでに受く。仏法聞き難し、いますでに聞く。この身 今生において度せずんば
 さらに、ずれの 生においてかこの身を度せん。大衆もろともに、至心に 三宝に帰依し奉るべし。
 自ら仏に帰依したてまつる。まさに願わくは 衆生とともに、大道を体解して、無上意を 発さん。
 自ら法に帰依したてまつる。まさに願わくは衆生とともに、深く 経蔵に入りて、智慧海のごとくならん。
 自ら僧に帰依したてまつる。まさに願わくは衆生とともに、大衆を統理して、一切 無碍ならん。
 無上 甚深微妙の法は、百千万 劫にも 遭遇うこと難し。我、ま 見聞し受持することを得たり。願
 わくは如来の真実義を解したてまつらん。

() () () () () () ()
 () () () () () () ()
 () () () () () () ()

「三帰依文」の意味調べ

人身 (	大道 (
仏法 (	体解 (
今生 (	無上 (意) (
度す (	発す (
大衆 (	経蔵 (
至心 (	無碍 (
三宝 (仏教の場合) (	甚深微妙 (
帰依 (	劫 (
仏 (	遭遇う (
衆生 (	如来 (

・右の絵は、初めてお釈迦さまが教えを説かれたときの様子を表しています。では、この絵の中で「三宝」とは、それぞれ、どれを指しますか。

---自己評価 (今日の授業を受けて) 該当に○をつける---

A:積極的に参加した B:普通 C:あまり関心がなかった。

感想欄 (今日の授業を受けて)

